MASPRO

双方向CATV 屋内用 BL型 CATVブースター

CATV BOOSTER	
周波数帯域	上り 10～ 55MHz 下り 70～770MHz

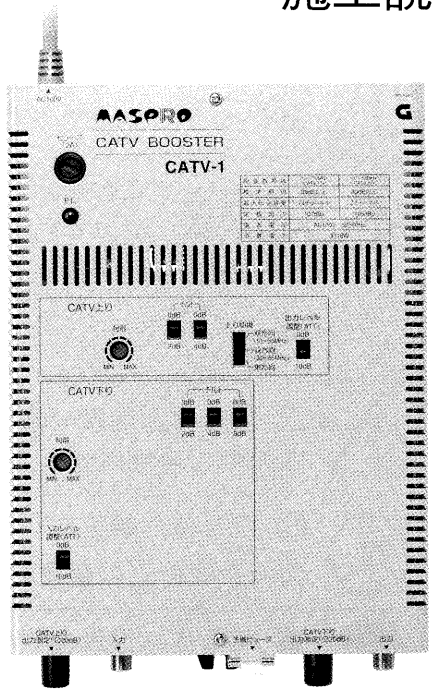
CATV-1

AC100V方式

優良住宅部品
テレビ共同受信機器

取扱説明書
施工説明書

アパート・マンションなどで，CATVの共同受信に使用する，広帯域ひずみ消去回路付きの高性能ブースターです。



ビートキラー
BEAT KILLER
広帯域ひずみ消去回路付

MASter of PROduction
生産の覇者

目次

ページ

安全上のご注意 …… 2
取扱説明
特長 …… 4
各部の名称 …… 4,5
規格表・付属品 …… 5
施工説明
F型コネクター(FP5)の取付方法 …… 6
取付方法 …… 6
ケーブルの接続 …… 7
出力レベルの調整 …… 7
正しく使用していただくために …… 8
保証について
無償修理規定 …… 8

ＢＬ部品とは

(財)ベターリビングが優良住宅部品認定制度によって，品質，性能，アフターサービスなどに優れた住宅部品を厳重な審査に基づき認定した住宅部品です。さらに保証責任保険と賠償責任保険が制度化されていますので，安心してご利用できます。

●ご使用の前に，この「取扱説明書・施工説明書」をよくお読みください。
●お読みになったあとは，必ず保存してください。

マルチメディアの
MASPRO
=マスプロ電工=

安全上のご注意　ご使用の前に，この「安全上のご注意」をよくお読みください。

絵表示について

この『安全上のご注意』には，製品を安全に正しくご使用いただき，ご使用になる方や他の人への危害，財産への損害を未然に防止するために，いろいろな表示がしてあります。その表示と意味は次のとおりです。

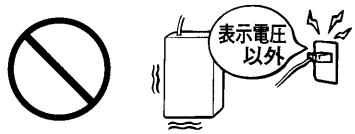
⚠ 警告	この表示を無視して，誤った取扱いをすると，人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して，誤った取扱いをすると，人が傷害を負う可能性が想定される内容，および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

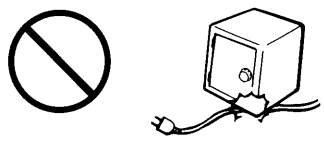
	△ 記号は，注意（警告を含む）が必要な内容があることを示しています。 図の中に注意内容（左図の場合，警告または注意）が描かれています。
	⃠ 記号は，禁止の行為を示しています。 図の中や近くに禁止内容（左図の場合，分解禁止）が描かれています。
	● 記号は，行為を強制したり指示する内容を示しています。図の中に指示内容（左図の場合，ACプラグをACコンセントから抜く）が描かれています。

⚠ 警告

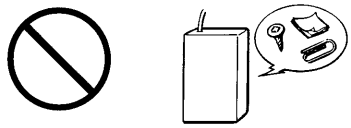
●表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。



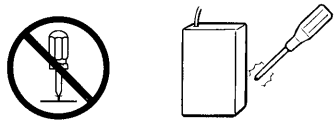
●電源コードを傷つけたり，加工したり，無理に曲げたり，ねじったり，引っ張ったり，加熱したりしないでください。また，重いものを載せたり，熱器具に近付けたりしないでください。電源コードが破損して，火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだ場合（芯線の露出，断線など），販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると，火災・感電の原因となります。



●ブースターの内部に，金属類や燃えやすいものなど，異物を入れないでください。火災・感電の原因となります。

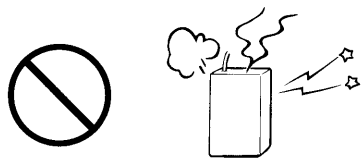


●ブースターのカバーを外したり，改造をしたりしないでください。また，ブースターの内部には触れないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。



⚠ 警告

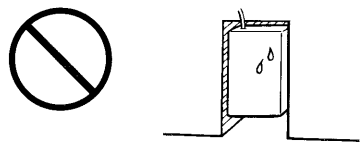
●煙が出ている，変な臭いや音がするなどの異常状態のまま使用すると，火災・感電の原因となります。すぐにACプラグをACコンセントから抜き，症状が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。また，テレビの画像が映らない，音声が出ないなどの症状があるときも，テレビと共にブースターのACプラグをACコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。
お客様による修理は危険ですから，絶対におやめください。



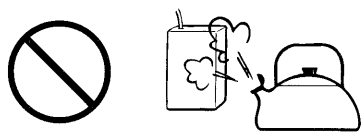
●雷が鳴出したら，アンテナ線・ACプラグには触れないでください。
感電の原因となります。

⚠ 注意

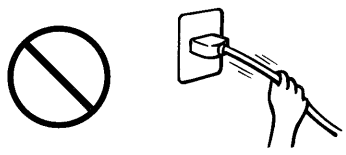
●ブースターは，風通しの悪いところで使用しないでください。
風通しを悪くすると内部に熱がこもり，火災の原因となることがあります。また，グラスウールのような断熱材の上に置いたり，包んだりしないでください。



●ブースターは，湿気やほこりの多い場所，調理台や加湿器のそばなど，油煙や湯気などが当たるような場所に置かないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

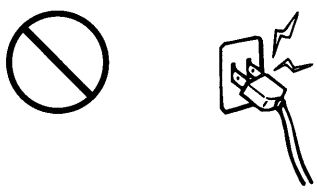


●ACプラグをACコンセントから抜くときは，電源コードを引っ張らないでください。電源コードが傷つき，火災・感電の原因となることがあります。必ずACプラグを持って抜いてください。

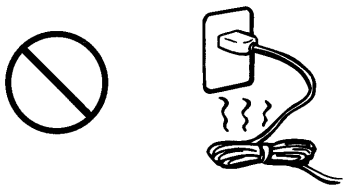


●濡れた手で，ACプラグの抜差しをしないでください。
感電の原因となることがあります。

●ACプラグは，ACコンセントに根元までしっかりと差込んでください。
すき間があるとゴミやホコリがたまり，火災の原因となることがあります。
また，ACプラグは，定期的にACコンセントから抜いて掃除してください。



●電源コードは，結んだり，束ねたりしたままで使用しないでください。
発熱して，火災の原因となることがあります。



取扱説明

特長

低ひずみ・高出力

マスプロ独自の「広帯域ひずみ消去回路」(特許出願中)によって，74波のテレビ信号を，107dBμの高出力，低ひずみで増幅できますから，端子数の多いシステムや強電界地域でのビル共同受信に最適です。

低消費電力

CATV用高性能パワーICを，「広帯域ひずみ消去回路」によって高効率で作動させていますから，高出力で低消費電力です。

上り伝送周波数帯域制限機能

上り切換スイッチで，上り信号の伝送周波数帯域を30～55MHzに制限できますから，上り流合雑音を最小限に抑えることができます。

チルト調整機能（CATV上り・下り）

同軸ケーブルの周波数特性によって発生する，信号のチルト差を補償できます。

各部の名称

ご注意

利得を調整するときは，調整用ドライバーを使用してください。無理に回すとこわれることがあります。

正面

電源コード（約1m）

電源コードを延長するために，途中で切断して別のコードをつなぐことは，電気設備技術基準で禁じられています。

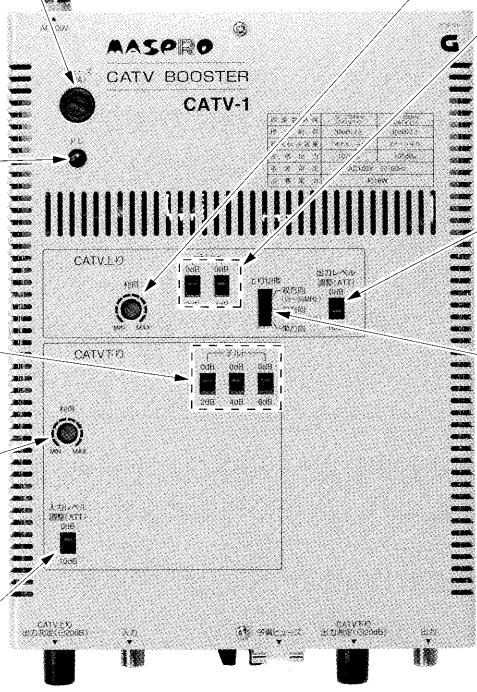
ヒューズホルダー（電源ヒューズ）

（ミゼット管型ヒューズ　定格2A）

ご注意

定格値を超えるヒューズは，絶対に使用しないでください。

電源表示灯（P.L.）



CATV下り

チルト（2, 4, 8dB）

出力レベルを2dBステップで，最大14dB/70MHzまで調整できます。

（770MHzの出力レベルは変わりません。）

利得調整

出力レベルを0～⊖10dBの範囲で連続して調整できます。

入力レベル調整（ATT）（10dB）

CATV上り

利得調整

出力レベルを0～⊖10dBの範囲で連続して調整できます。

チルト（2, 4dB）

出力レベルを2dBステップで，最大6dB/10MHzまで調整できます。

（55MHzの出力レベルは変わりません。）

出力レベル調整（ATT）（10dB）

上り切換スイッチ

使用するシステムに合わせて，「双方向」または「単方向」に切換えてください。「双方向」の場合，上り信号の伝送周波数帯域を切換えることができます。

双方向（10～55MHz）

上り信号を全帯域にわたって通過させるとき。

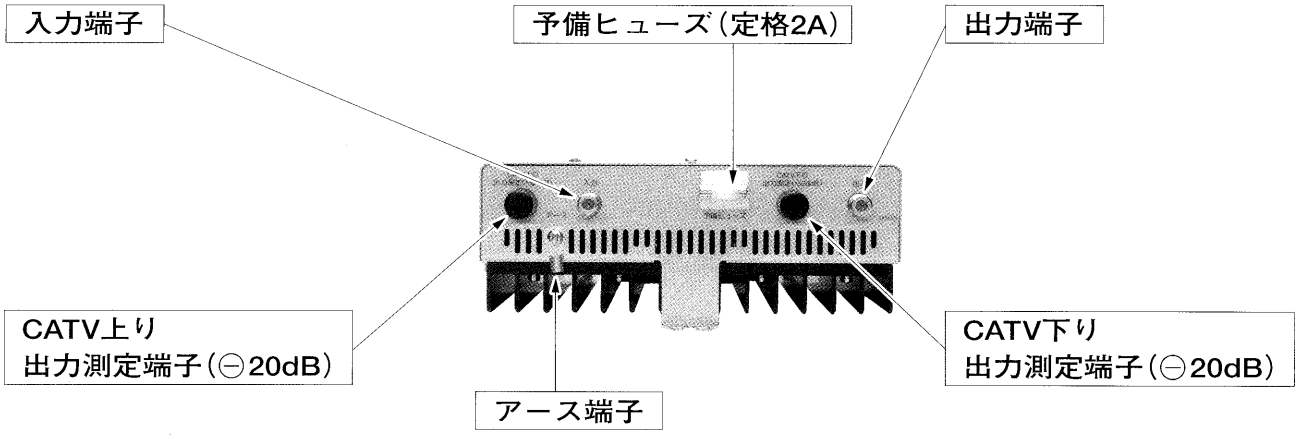
双方向（30～55MHz）

上り信号を全帯域にわたって通過させると，流合雑音が多くなるとき。

単方向

単方向システムに使用するとき。

底面



規格表

項目	規格	
周波数帯域	70～770MHz（CATV下り）	10～55MHz（CATV上り）
最大伝送容量	70～550MHz：アナログTV信号74波 550～770MHz：ディジタル信号（⊖10dB運用）	アナログTV信号2波 ⊕ データ信号（⊖10dB運用）
標準入力レベル	69dBμ以上	75dBμ以上
標準利得	38dB以上	30dB以上
定格出力	107dBμ（フラット出力）	105dBμ（フラット出力）
利得調整範囲	0～⊖10dB以上（連続可変）	0～⊖10dB以上（連続可変）
入力レベル調整（ATT）	0，10dB切換	―――
出力レベル調整（ATT）	―――	0，10dB切換
チルト特性	最大14dB（2dBステップ）／70MHz　※1	最大6dB（2dBステップ）／10MHz　※2
帯域内周波数特性	全帯域で±2.0dB以内	全帯域で±1.0dB以内
雑音指数	10dB以下	
入・出力インピーダンス	75Ω（F型コネクター）	
電圧定在波比	2.0以下	
相互変調（IM2）	⊖63dB以下	⊖55dB以下
混変調	⊖58dB以下	―――
CTB	⊖60dB以下	―――
利得安定度	±2.0dB以内	
ハム変調	⊖60dB以下	
耐衝撃波試験	15kV（1.2／50μs）のサージ電圧に耐えること	
電源電圧	AC100V　50・60Hz	
消費電力	約18W	
使用温度範囲	⊖10～⊕40℃	
外観寸法	257（H）×180（W）×70（D）mm	
質量（重量）	約2.4kg	
シンボル		

※1　770MHzを基点とした70MHzでのチルト量です。
※2　55MHzを基点とした10MHzでのチルト量です。

付属品

F型コネクター（**5C**ケーブル用）・・・・・・・・・・・・２個
壁面取付金具 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１個
木ネジ（予備１本を含む）・・・・・・・・・・・・・・・・・４本
予備ヒューズ（定格2A：本体に付属）・・・・・・１本

施工説明

● 関連法規

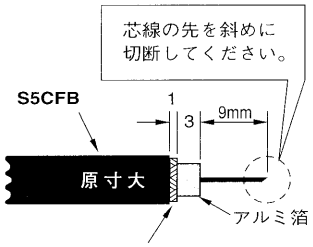
テレビ共同受信システム工事には，下記の法律が適用されます。

●有線電気通信法　●有線テレビジョン放送法

F型コネクター(FP5)の取付方法

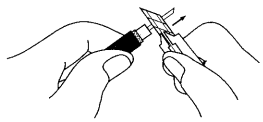
● 接触不良やショートを防ぐため，プラグはていねいに取付けてください。

①ケーブルの加工



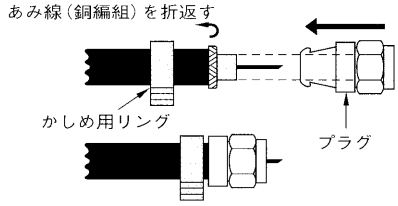
あみ線（銅編組）をニッパーまたはハサミで，1mm残して切ってください。

②芯線には白い膜が付いています。導通を良くするために，必ず取除いてください。



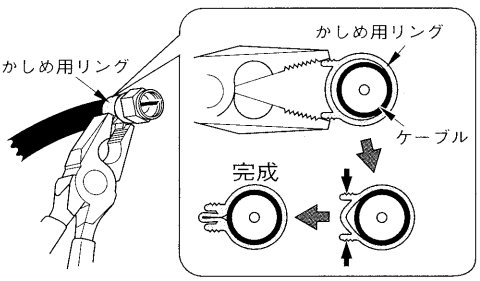
③プラグの取付

1. かしめ用リングを，ケーブルに通してください。
2. あみ線（銅編組）を折返してください。
3. プラグを強く押込んでください。

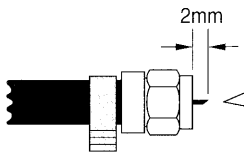


④かしめ用リングをペンチで圧着

プラグが抜けないようにプラグの根元で，しっかりと圧着してください。



完成図



芯線が長すぎると，コネクターが破損して機器が故障します。

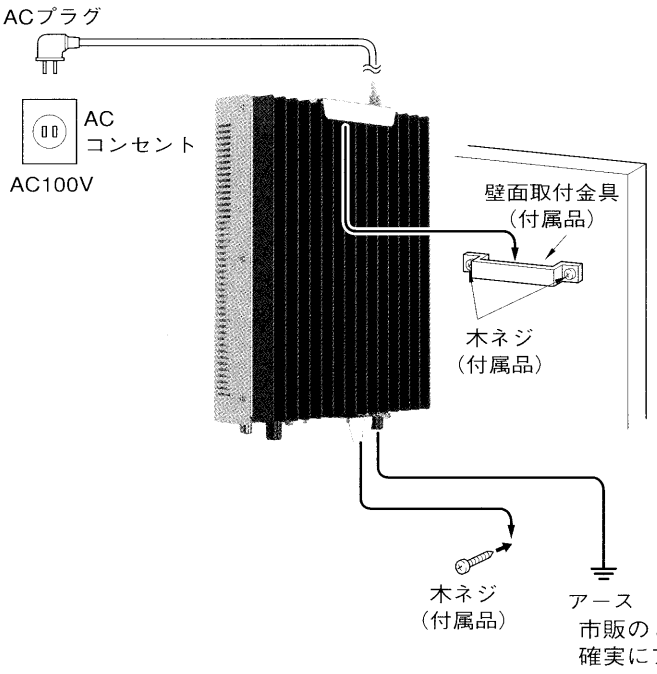
芯線の長さは，必ず2mmにしてください。

芯線は,まっすぐにしてください。

芯線が曲がっていると，ショートして機器が故障します。

取付方法

●本器は，屋内設置専用です。雨水のかかる場所には防水ボックスに収納して設置してください。
●機器収納ボックスは，400(H)×400(W)×180(D)mm以上のものを使用してください。（鉄製の場合）



●機器収容ボックスにACコンセントを用意してください。
●電気配線と同じように，あらかじめ収納ボックスをアースしてください。

ご注意

●ACプラグは，共同受信の配線工事がすべて終了してから，ACコンセントに接続してください。

●ブースターは，内部温度上昇を防ぐため，風通しの悪い場所（天井裏・断熱材の上など）に設置しないでください。発熱して故障の原因となります。

ケーブルの接続

● 入力端子に，CATV下り入力用のケーブルを接続してください。
● 出力端子に，CATV下り出力用のケーブルを接続してください。

出力レベルの調整

1. CATV下りレベルの調整

① 下り入力レベルの調整

下り標準入力レベルは69dBμです

この値を超えている場合，入力レベル調整(ATT)を切換えて調整します。
［出荷時に入力レベル調整(ATT)は，10dBに設定してあります］

② 下り出力レベルの測定および調整

出力レベルは107dBμ以下（74波伝送時）に設定してください

●CATV下り出力測定端子で測定します。（測定値に20dBを加えた値が下り出力レベルです）
下り入力レベルを標準入力レベルに設定したとき，出力は107dBμ（最大出力レベル）になります。
●利得調整ボリュームを㊧に回すと利得を10dB以上，下げることができます。
●チルトスイッチにより，出力レベルを2dBステップで最大14dB／70MHzまで調整できます。
（770MHzの出力レベルは変わりません）
［出荷時に利得調整はMIN，チルト調整は0dB（平坦）に設定してあります］

2. CATV上りレベルの調整

① 上り入力レベルの調整

上り標準入力レベルは75dBμです

この値を超えている場合，出力レベル調整(ATT)を切換えて調整します。
［出荷時に出力レベル調整(ATT)は，10dBに設定してあります］

② 上り出力レベルの測定および調整

出力レベルは105dBμ以下（2波伝送時）に設定してください

●CATV上り出力測定端子で測定します。（測定値に20dBを加えた値が上り出力レベルです）
上り入力レベルを標準入力レベルに設定したとき，出力は105dBμ（最大出力レベル）になります。
●利得調整ボリュームを㊧に回すと，利得を10dB以上，下げることができます。
●チルトスイッチにより，出力レベルを2dBステップで最大6dB／10MHzまで調整できます。
（55MHzの出力レベルは変わりません）
［出荷時に利得調整はMIN，チルト調整は0dB（平坦）に設定してあります］

正しく使用していただくために

よい画像が得られないときは，次のチェックをしてください。

画像が出ない場合，または，著しくスノーノイズが出る場合

1. 電源 ―――― 規定の電圧(AC90～100V)が供給されていますか。
2. 入・出力端子 ―――― 入力と出力が逆に接続してありませんか。
3. 利得調整 ―――― 利得が最大(㊨へいっぱい回した状態)になっていますか。
4. ケーブル・コネクター ―― 断線またはショートしていませんか。
5. 入力レベルの測定 ―――― 入力レベルが低くありませんか。

画像にビート縞，ワイパー現象が出る場合

1. 利得調整 ―――― 症状が消えるまで，利得調整を㊧へ回してください。
2. 入力レベルの測定 ―――― 入力レベルが高くありませんか。

保証について

無償修理規定

保証期間内に取扱説明書・施工説明書記載事項にしたがった正常な使用状態で故障した場合，当社支店・営業所までお申付けください。
この製品の保証期間は，お引渡しの日から2年間とします。

保証期間内でも下記の場合，有償修理となります。

① 日本国以外で使用した場合の不具合。
② 住宅用途以外で使用した場合の不具合。
③ ユーザーが適切な使用，維持管理をおこなわなかったことに起因する不具合。
④ メーカーが定める施工説明書に基づかない施工，専門業者以外による移動・分解などに起因する不具合。
⑤ 建築躯体の変更など住宅部品本体以外の不具合に起因する当該住宅部品の不具合，塗装の色あせなどの経年変化または使用に伴う磨耗などにより生じる外観上の現象。
⑥ 海岸付近，温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合。
⑦ ねずみ，昆虫などの動物の行為に起因する不具合。
⑧ 火災・爆発事故，落雷・地震・噴火・洪水・津波などの天変地異または戦争，暴動などの破壊行為による不具合。
⑨ 消耗部品の消耗に起因する不具合。
⑩ 電気の供給トラブルなどに起因する不具合。
⑪ 瑕疵に起因して，住宅部品その他の財物の使用ができなくなったことによって生じた不具合。

●生産中止後の取換えパーツ（ヒューズ）の供給可能な期間は10年です。

製品向上のため 仕様・外観は変更することがあります。

マルチメディアの
＝マスプロ電工＝
本社〒470-0194(本社専用番号) 愛知県日進市浅田町
営業部 TEL名古屋(052)802－2244
工事営業部 〃 (052)802－2225
技術相談 〃 (052)805－3366
インターネットホームページ www.maspro.co.jp

支店・営業所
沖縄 (098) 854-2768
鹿児島 (099) 812-1200
宮崎 (0985) 25-3877
熊本 (096) 381-7626
長崎 (095) 864-6001
福岡(支) (092) 531-3861
北九州 (093) 941-4026
下関 (0832) 55-1130
徳山 (0834) 32-2954
広島 (082) 230-2351
松江 (0852) 21-5341
岡山 (086) 252-5800
松山 (089) 973-5656
高知 (088) 882-0991
高松 (087) 865-3666
姫路 (0792) 34-6669
神戸 (078) 843-3200
大阪(支) (06) 6635-2222
工事営業部 (06) 6632-1144
京都 (075) 646-3800
津 (059) 234-0261
岐阜 (058) 275-0805
名古屋(支) (052) 802-2233
工事営業部 (052) 804-6262
豊橋 (0532) 33-1500
静岡 (054) 283-2220
松本 (0263) 57-4625
福井 (0776) 23-8153
金沢 (076) 249-5301
新潟 (025) 287-3155
横浜 (045) 784-1422
渋谷(支) (03) 3409-5505
工事営業部 (03) 3499-5631
秋葉原 (03) 3255-7335
青戸 (03) 3695-1811
八王子 (0426) 37-1699
千葉 (043) 232-5335
さいたま (048) 663-8000
前橋 (027) 263-3767
水戸 (029) 248-3870
宇都宮 (028) 660-5008
郡山 (024) 952-0095
仙台 (022) 786-5060
盛岡 (019) 641-1681
秋田 (018) 862-7523
青森 (017) 742-4227
函館 (0138) 53-7355
札幌 (011) 782-0711
釧路 (0154) 23-8466
旭川 (0166) 25-3111
北見 (0157) 61-0480

APR., 2002

MASter of PROduction 生産の覇者

2K55-275 B-111-4275-2L